

令和6年度  
連雀学園 三鷹市立第一中学校 学校経営方針

連雀学園の教育目標

地域に根ざし、たくましく現代に生き、進んで未来を創造し、社会に貢献する心身ともに健康な児童・生徒を育成する。  
○学び続ける人 ○共に生きる人 ○心と体を鍛える人

本校の教育目標

たくましく現代に生き、進んで未来社会を創造する心身共に健康な人を育成する。

◎考える人 ○思いやりのある人 ○助け合う人 ○成しとげる人

健康で心豊かな人間になるために、特に「考える人」の育成を重点とする。

教育目標の実現のために身に付ける資質・能力

- 「考える人」になるために …………… ◎ 課題を見出し、その解決に向けて論理的に考えたり表現したりする力 を身に付ける  
 「思いやりのある人」になるために …… ○ 多様な立場や考えを想像したり、理解しようとしたりする態度 を身に付ける  
 「助け合う人」になるために …………… ○ 他者とコミュニケーションを図りながら協働する力 を身に付ける  
 「成しとげる人」になるために …………… ○ 目標の実現のために、様々な工夫しながら粘り強く取り組む力 を身に付ける



学校

I 学習指導

「学ぶ力」を鍛え、育てる学習指導

- ① 「学び方を学ばせる」ための各教科のガイダンスを充実させる。(定期テスト前、夏季休業期間等)
- ② 知識・技能を活用して問題解決に取り組む学習の充実を図る。(定期テスト問題も含む)
- ③ iPadを活用して生徒同士の学び合いを効果的に展開する。
- ④ 「楽しい・分かる・できる授業づくり」のために教室環境、学習環境のユニバーサル・デザインを推進する。
- ⑤ 安心して意欲的に学べる学習環境のために、学習規律の徹底を図り、自ら学ぶ学習集団を育てる。

【主な具体的方策】

- ア 定期テストの機会を生かして「学び方」を学ばせる「学習ガイド」の発行・配信
- イ 小集団による話し合いなどを活用した、一問一答ではない「思考力、判断力、表現力」を育む授業の推進
- ウ 「思考力・判断力・表現力」を評価するためのテスト問題大の改善
- エ 「ツール」としてのiPad活用による記録、発表、意見交流、情報共有等の学習活動の充実と効率化
- オ すべての生徒が学びやすい教室環境の整備と板書の配慮

II 生活指導・健全育成

より良い集団を築くために、他者と協働しながら、粘り強く、主体的に行動する力を鍛え、育てる

- ① 「教師主導の段階」から「見守る段階」まで、生徒を鍛え、育てる。
- ② 迅速な報告・連絡・相談と、組織的な指導・対応の充実を図る。
- ③ 計画的・段階的な学級集団づくり・学年集団づくりを推進する。
- ④ 生徒の自治的な活動を通して、自らの学校生活の充実・向上のために「規律・規範」を尊重する意識を育てる。
- ⑤ 地域の一員としての自覚や社会生活で求められる資質・能力・態度を育成する。

【主な具体的方策】

- ア 「模範を示し、サポートして取り組ませ、任せて見守る」というステップを重視した特別活動の指導
- イ 教員間や関係機関との連携による組織的な指導の推進
- ウ 班づくりを通して段階的に学級の規律と自治的気風を醸成する集団づくりの推進
- エ 「生徒集会の自主運営」「学級組織を生かした学校行事の取り組み」など生徒主体の自治的な活動の推進
- オ 部活動単位によるボランティア活動の推進
- カ 部活動への加入促進と学習との両立を実現するためのメリハリのある活動計画

III 進路指導

社会との関わりの中で自らの生き方を考え、主体的に進路を選択する力を鍛え、育てる。

- ① 段階的な指導の充実を図り、将来の生き方に対する意識を高め、自ら進路を選択できる力を育む。
- ② 自分を理解し、自分で考え決めたことについて最後までやり抜く意欲と態度を育てる。
- ③ 進路情報の発信の充実を図る。

【主な具体的方策】

- ア 「職業人の話を聞く会」「職場体験」における事前学習と事後学習の充実
- イ 上級生や卒業生によるオリエンテーション、ガイダンスの充実(体験報告会、卒業生講演会、等)
- ウ 「進路だより」、学校ホームページ等の活用による進路情報の積極的な発信

IV 教育課題への対応

- 「考える人」を育てる取り組みの推進  
「目指す一中生の姿」の協議を通してルールやきまり、学校生活の在り方などを生徒自身で考える機会を設ける。
- 防災教育の充実  
自ら危険を予測して回避できる能力の育成を図る「退避行動訓練」を導入する。
- 交流及び共同学習の充実  
支援学級と通常の学級の交流を通して、生徒の能力に応じた適切な学びの場・学びの機会を充実させる。
- 体力・運動能力の向上  
日常の学校生活の中で取り組む健康維持・体力づくりの活動を充実させる。
- コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の推進  
地域人財、地域資源の活用と、地域の一員としての生徒の活動を充実させる。

家庭

心身の健康の基盤を作る場

- 生活リズムを整える
- 必要以上に先回りして準備しない
- 子供の「わけ」を最後まで聞く
- 子供に決定させ、責任をもたせる
- 共に考える

社会との出会い・関わり・体験の場

- 地域人財、地域資源と学校とをつなぐ
- 保護者とは違う面から子供たちに関わり続ける、見守り続ける
- 子供が「他者」と豊かに関わる場として、地域社会における活動の機会を提供

地域